

## 柳井医療圏地域医療構想調整会議（平成29年度第1回）議事概要

【日 時】平成29年10月18日（水）19:00～20:00

【場 所】柳井市役所大会議室

【出席者】出席者名簿のとおり

- 療養病床の見直し方針やH28病床機能報告結果等について情報提供を行い、それらを踏まえた上で意見交換を行った
- 今後の病床機能の確保については、必要病床数のみにとられず、地域の実情を踏まえて検討を行うことを確認した

### 【議事内容】

#### 1 地域医療構想について

資料1, 2により、柳井医療圏における必要病床数について説明を行うとともに、過剰となっている療養病床については、今後、「介護医療院」等へ転換が図られる方向性であることを説明。

（主な意見・質問等）

- 必要病床数については参考値として示されたものであり、この数値にとられることはないとの理解でよいか。  
→ 構想を推進していくに当たり、皆で共有できる指標となる数値と考えているが、あくまでも指標であり、地域の実情を踏まえ進めていくことも重要だと考えている。
- 介護医療院と介護療養病床との違いが分かりにくい。
- 療養病床は、介護医療院に移行する方向性であるが、住民の心配は医療・介護の難民が生まれないようにすること。  
→ 新しい形態は、医療のバックアップを確保した上で、暮らしを重視したものであると考えている。  
医療機能を内包する形態や住まいと医療機関が併設される形態など、様々な形での提供体制が考えられる。地域の患者側ニーズとミスマッチが生じないようにするための必要な体制が確保されるよう十分な検討が必要である。

#### 2 病床機能報告について

資料3により、各医療機関が担っている機能及び今後担うべき機能について今年度の病床機能報告の状況を説明

資料4により、医療機能の定義及び報告に当たっての留意事項を説明

（主な意見・質問等）

- 病床機能報告上では回復期が不足しているが、実際には回復期の機能を担っている病床もあり、実態をとらえた報告でよいか。  
→ 病床報告における各医療機能の定義を踏まえ、適切に対応していただきたい。

### 3 検討部会の概要について

資料5により、現時点、具体的な病床の転換数を示すことは困難であるが、転換の方向性については、概ね構想に沿ったものとなっていることを説明

(主な意見・質問等)

特に意見・質問等はなし